

第5回若者まちづくりミーティング

日 時 平成28年9月17日(土)
午後2時から午後4時30分まで

<事前検討のテーマ>

公共施設について「これだけは実現してほしい」ということ

(進め方)

- ・おひとりずつ2分程度で発表してください。
 - ・書いてきた内容に加え、
 - 実現するために、ご自分で何かできることがあるか
 - 若者まちづくりミーティングに参加した感想
- なども発表していただくとありがたいです。

ワークショップの趣旨

- ①これまでのワークショップで皆さんから出された意見を市で受け止め、まちづくりの方向性として整理しました。
- ②これは、このあとに市が作る「公共施設マネジメント実施計画」に反映され、公共施設の整備を含む蒲郡市のまちづくりに生かされます。
- ③皆さんには、特定のエリアや地区を題材の中心としてこれまで話し合っていたいただきましたが、この方向性は市のすべてのエリアのあらゆる公共施設に反映させるものとなります。
- ④方向性を4つのテーマに分けましたので、テーマごとにグループで議論して、さらなるご意見をいただきます。

テーマ1：市民生活の充実

- 図書館、市民会館、生命の海科学館、博物館、市役所等にある「学ぶ」、「趣味の活動をする」、「発表・展示をする、見る」、「会議や集会をする」、「図書やメディアにふれる」、「休憩」、「行政手続き」等の機能を蒲郡駅南エリア等の交通利便性の高い位置に集約し、幅広い活動ができる複合施設を設置する。
- 市民会館、生命の海科学館、勤労福祉会館、生きがいセンター等にある「会議や集会をする」機能を再編し、利便性の高い位置に集約する。
- 博物館の展示機能をより市民が触れやすい場所に配置し、展示内容を定期的に入れ替えるなど企画の工夫をすることで、何度も訪れたいと思われるようにする。
- 保健・福祉施設は、それぞれが持つ機能を、利用者にとっての利便性に主眼を置いて再配置する。機能同士の連携による利便性の向上や駐車場不足の解消を図る。
- 自然や産業などそれぞれの地区の特色を活かした公共施設をつくる。
- 景観の良い場所や自然の豊かな地区ではウォーキングやサイクリングなど市民が日常的な運動を行い健康づくりができる環境を整える。

テーマ2: 活力・にぎわいの向上

- 竹島周辺エリアを蒲郡を代表する観光地として位置づけ、文化や歴史の発信拠点として集中的に整備を進める。
- 竹島周辺エリアを訪れる観光客に長時間滞在してもらえるよう施設の整備を行う。(例: 休憩スペース、蒲郡の特産品を購入したり味わったりする施設、カフェ、バー、歴史・文化の発信拠点)
- 竹島周辺エリアの施設間を蒲郡の特徴を表現する美しいデザインのルートで結んだり、一体的な情報発信を行うなど、単体の施設のみでなく、エリア全体で蒲郡の魅力を表現する。
- 竹島周辺を観光客と市民の双方が訪れるにぎわいのあるエリアとする。
- 高齢者の居場所や地域サークルの活動場所などとして、空き家や空き店舗の活用を推進する。

テーマ3：地域で助け合い、子どもを育てる拠点づくり

- 学校を中心とした地域の拠点をづくり、子育て、高齢者のレクリエーション、文化活動、集会、スポーツなど地域の方々の様々な活動の場とするとともに世代間交流の場とする。
- 社会の変化に合わせて、地域で高齢者を見守り、子どもを育てる環境を整える。
- 空き家を活用するなどして地域で高齢者の居場所をつくる。
- 児童クラブの小学校内への配置を進め、子どもの安全を確保する。
- 交通事情など地区の実情に配慮した上で小中一貫化を進める。また、学校を集約することより教育の充実を図る。
- 必要であれば学区を見直したり、学区を選択できるようにする。
- 保育園の集約などにより、保育対象年齢の拡大などサービス内容の充実を図る。
- 地域の拠点を災害時の避難場所として利用することにより地域の防災力を高める。

テーマ4：住民参画によるまちづくり

- 公共施設の再編は、まちづくりと一体になって行う。
- まちの課題を市民が議論し、課題を解決するための手段として公共施設の再編を行う。
- 最終的には市民の意見を踏まえ、行政が計画を決定する。

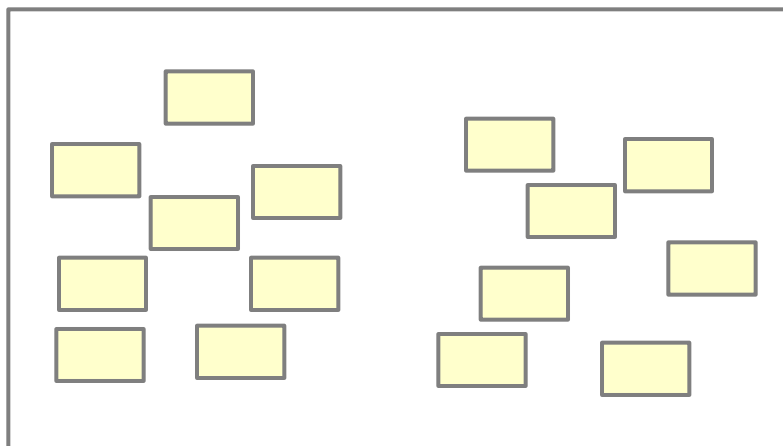
ワークショップ進め方

- ①これまでの議論をもう一度思い出し、まちづくりの方向性を吟味して下さい。あらためて議論したことを追加したり、内容を修正しても構いません。
- ②各項目の重要度も考えて下さい。どうしてそれが重要なのか(理由)も考えてください。
- ③まちづくりの方向性についてのグループの意見を集約して発表して下さい。

例)「この方向性について〇〇と考える」、「〇〇だから△△が重要だ」、「〇〇を加えるべき」、「〇〇は△△に修正すべき」

※皆さんからこれまでに出了された意見を記入した「意見カード」を用意しました。自由に使ってください。

①テーマごとに意見をふせんに書き、発表しながら貼っていきましょう。



意見を貼っていく

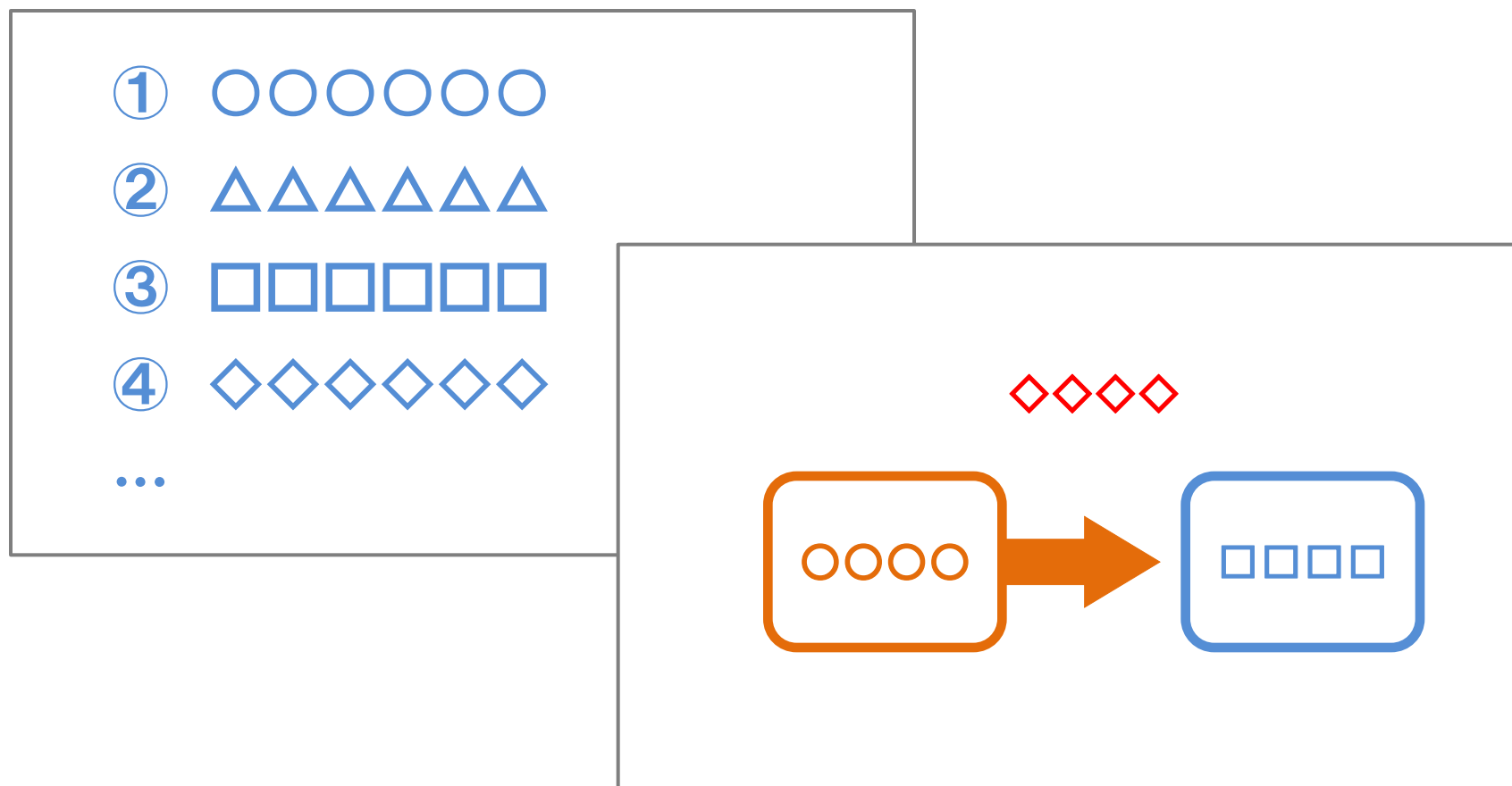
例) 「この方向性について〇〇と考える」

「〇〇だから △△が重要だ」

「〇〇を加えるべき」

「〇〇は△△に修正すべき」

②意見を集約し、箇条書きや図にするなどして整理して発表してください。



1. **人の意見は最後までよく聞く**
2. **思いついたことは言ってみる**
3. **否定しない**
4. **全員が意見を出す**
5. **その場を楽しむ**